

あなたならどうする？

～SNS上のトーク・グループの利用について～

I アクティビティーについて

ねらい

インターネットによる人権侵害について理解を深め、望ましい使い方や人間関係を構築しようとする態度を身に付けさせるとともに、インターネットの活用と人権について考える社会づくりを実現しようとする意欲と態度を育成する。

◆◆◆視点◆◆◆

- ◎権利と責任
- 参加・参画
- コミュニケーション能力
- 人間の尊重・価値の尊重

設定の理由

この発達段階の生徒は、インターネットの知識や利便性について理解していても、危険性や依存性などについては理解が十分であるとは限らない。また直接的な言動より、間接的な文字で安易にコミュニケーションを取り、課題を解決しようとする生徒も少なくない。

そこで、スマートフォン等で生じやすい問題について疑似体験を通して考えさせることで、インターネットによる人権侵害について理解を深め、望ましい人間関係を構築しようとするとともに、明るく安心なインターネット社会の実現を目指す態度を身に付けさせたい。

アクティビティーの概要（1時間扱い）

- 活動1 体験活動『スマートフォン：SNS上のトーク・グループでのやりとり』
- ・資料『スマートフォン：SNS上のトーク・グループでのやりとり』から起こりうるトラブルを各自でみつける。
- 活動2 活動1でみつけたトラブルについてグループで話し合う。
- ・自分の考えを発表したり、グループの考えをまとめたりする。
 - ・話し合いを通して、感じたことや発見したことについてまとめる。
- 活動3 「私のクラスのスマホルール」を考え、短冊に書き記す。※各校の実態に応じて実施。
- 活動4 振り返り活動
- ・活動を通して、気付いたことをワークシートに記入し発表していく。

アクティビティーの実際

□ 準備するもの

- ・資料『スマートフォン：SNS上のトーク・グループでのやりとり』
- ・ワークシート
- ・グループ発表用拡大記入用シート（資料を拡大したもの）
- ・ルール作り用短冊 ※実施する場合のみ

□ アクティビティーの進め方

資料『スマートフォン：SNS上のトーク・グループでのやりとり』を用いる。

- 1 活動1：各自が資料を読み、考えや意見を書き出す。
- 2 活動2：グループで意見交換し、まとめていく。
- 3 グループ毎に発表をする。
- 4 振り返り グループ活動を通して、気付いたこと・分かったことの振り返りをする。

指導のポイント

- ・自分の考えを伝えるだけでなく、他者の考えを否定せずに聞くことを大切にさせる。
 - ・他者の考えに対する理解を深める。
 - ・情報機器やSNSの使い方を考えさせ、今後の活かし方について検討させる。
- ※このアクティビティーを通して、自分の考えと他者の考えとを比較し、インターネットによる人権について考えを深めさせるように配慮する。また、正解を導きだすことを重点としない。

用語解説

SNS

ソーシャル
ネットワーキング
サービス (サイト)

社会的ネットワークの構築の出来るサービスやウェブサイト。人と人とのつながりを促進・サポートする「コミュニティ型の会員制のサービス」あるいはそういったサービスを提供するウェブサイト。友人・知人間のコミュニケーションの手段や場を提供したり、新たな人間関係を構築する場を提供したりする会員制のサービスのこと。

トーク

文字やスタンプでメッセージのやりとりを行う。メッセージひとつひとつを開くのではなく、自分と相手とのやりとりがひとつの画面で表示されるため、会話の流れが一目で把握できるのが特徴。相手に送ったトークを削除することはできない。

グループ

グループで複数の人と同時にトークすることができる。参加メンバーの全員で内容を共有できる。グループのメンバーになるには、すでにグループに参加している人からの「招待」が必要となる。グループのメンバーをやめるには「退会」をする。

スタンプ

顔文字や絵文字と同様に、テキストでは表現できない感情などを表す大きなサイズのイラスト。喜怒哀楽を表す表現が多い。

既読

メッセージを送った相手が内容を読むと、送信側の画面に自動で表示される機能。

既読無視

(既読スルー)

相手がメッセージを読んだにも関わらず返信が来ないこと、および、自分がメッセージを読んだにも関わらず返信をしないこと。

グループからの退会

参加しているグループから自ら不参加になることを退会という。一度退会しても再び招待されることでグループに参加できる。ただし、退会していた間のトークを読むことはできない。また、グループ内で不適切なメッセージと判断されると、グループ内の他のメンバーがそのメンバーを強制退会させることもできる。その場合、「〇〇さんが△△さんを退会させました。」と画面に表示される。

II 授業展開例

時	学習活動	教師の働きかけ
5	○ネットいじめ等から本時の課題を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権についての学習であることを理解させる。 「ネット上でもいじめは人権侵害になる」
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>体験活動：スマートフォン：SNS 上でのやりとり ≪ネットの活用を通して人権について気付き、深める≫</p> </div>		
10	○学習（手順）の確認 ○活動1（各自） <ul style="list-style-type: none"> ・資料1を読み、自分の考え、意見を書き出す ※活動3を行わなければ15分	○考えが書けない生徒には、気になる点に印をつけさせる。 ・理由についても考えさせる。
20	○活動2（グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で一人ずつ自分の考えや意見を発表し、話し合う。 ・拡大版に意見をまとめる。 ・話し合った結果を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3～4人程度の小集団をあらかじめ編成しておく。 ・トラブルの原因や起こさないようにするにはどうすればよいのか、考えた理由も含めて意見交換させる。 ○互いの意見を尊重させる。（否定したり笑ったりさせない） ※教室掲示 今後SNS上のやりとりで、どのようなことを大切にしていこうか考えさせる。
5	○活動3ルール作り <ul style="list-style-type: none"> ・個人用短冊に自分が考えたルールを考えて書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットの活用と人権に気付き、考えを深められるよう支援する。（活動3は、各学校の実態に応じて実施しない場合もある）
10	○活動4 振り返り（個人） <ul style="list-style-type: none"> ・活動を終えて気付いたこと、感じたことをまとめる。 ・発表 ○まとめ	○多様な意見があることを理解させ、他者の意見を尊重する意識を持たせる。 ・SNS はあくまでもツールであり、使う側の意識で良くも悪くもなる。 ・相手の気持ちになって使用することが大切であることを理解させる。（人権尊重）

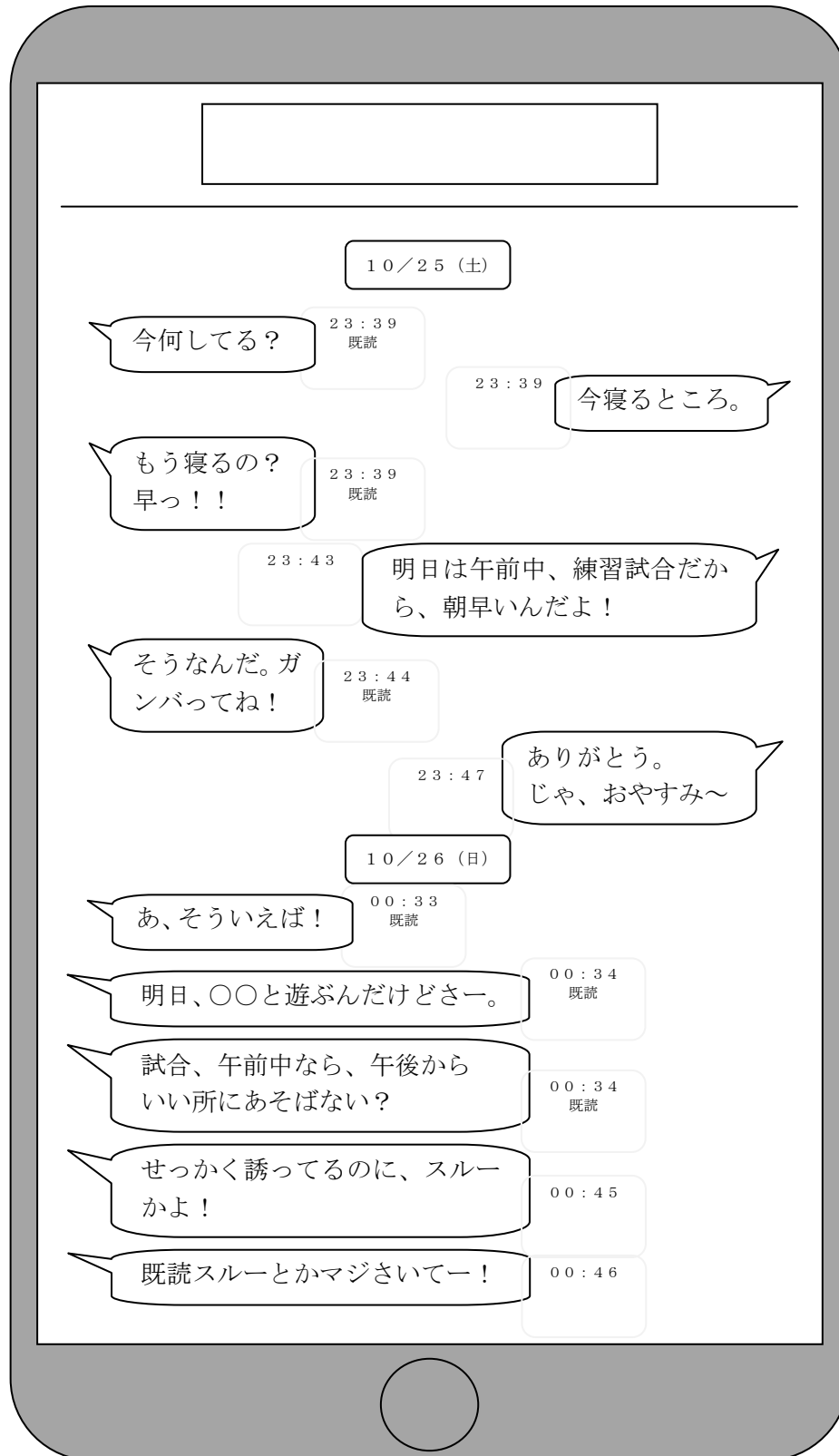
Ⅲ 資料

(1) 資料『スマートフォン：SNS上でのやりとり』

【中学生版】

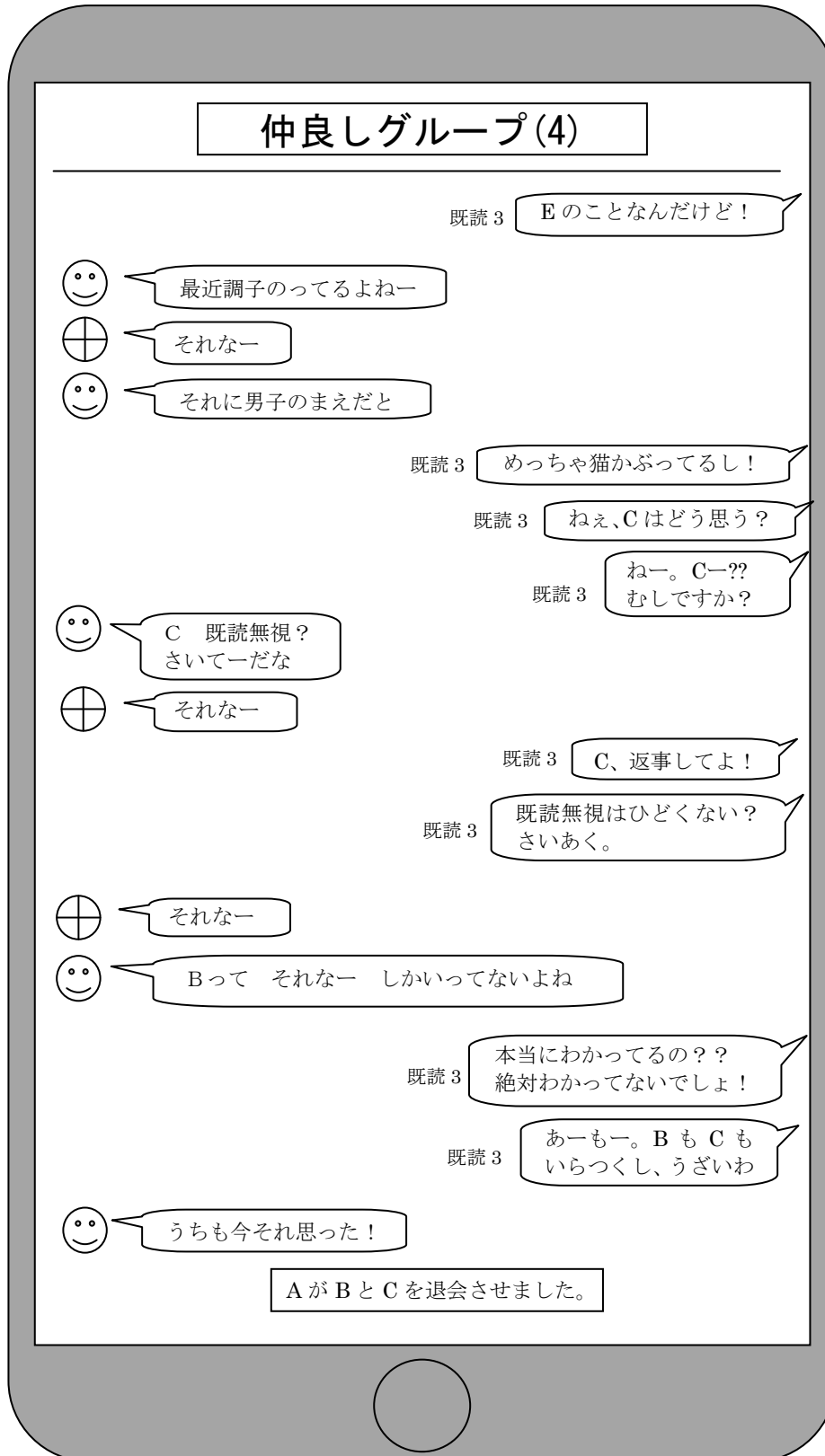
次のスマートフォンの画面は、SNSを使ったやり取りです。相手と持ち主のやり取りから気が付いたことを余白に書き出しましょう。(気になる場所に○でも可)

※左側が相手、右側がスマートフォンの持ち主です。



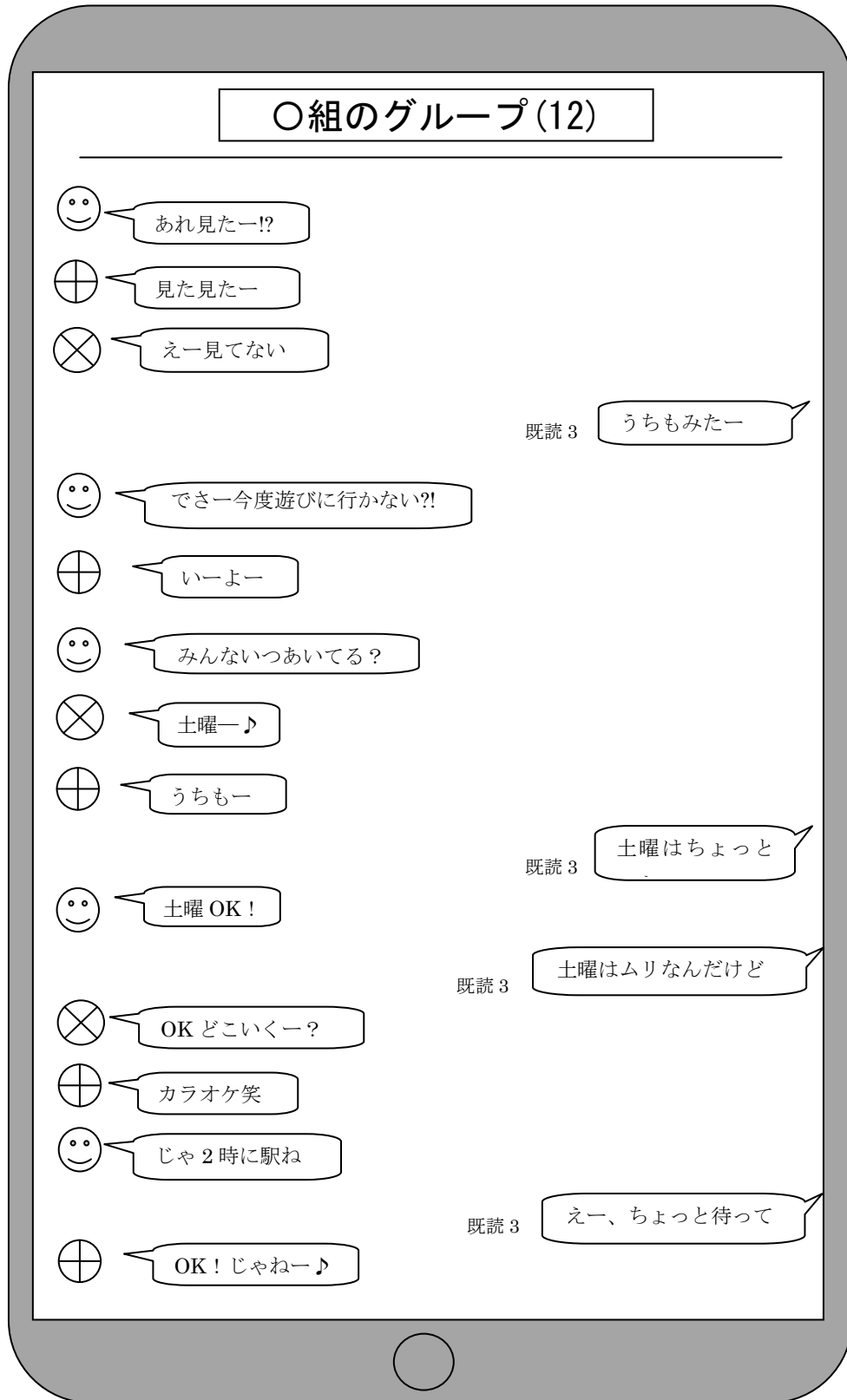
資料【高校生版】 1

次のスマートフォンの画面は、SNSを使ったやり取りです。相手と持ち主のやり取りから気が付いたことを余白に書き出しましょう。(気になる場所に○でも可)



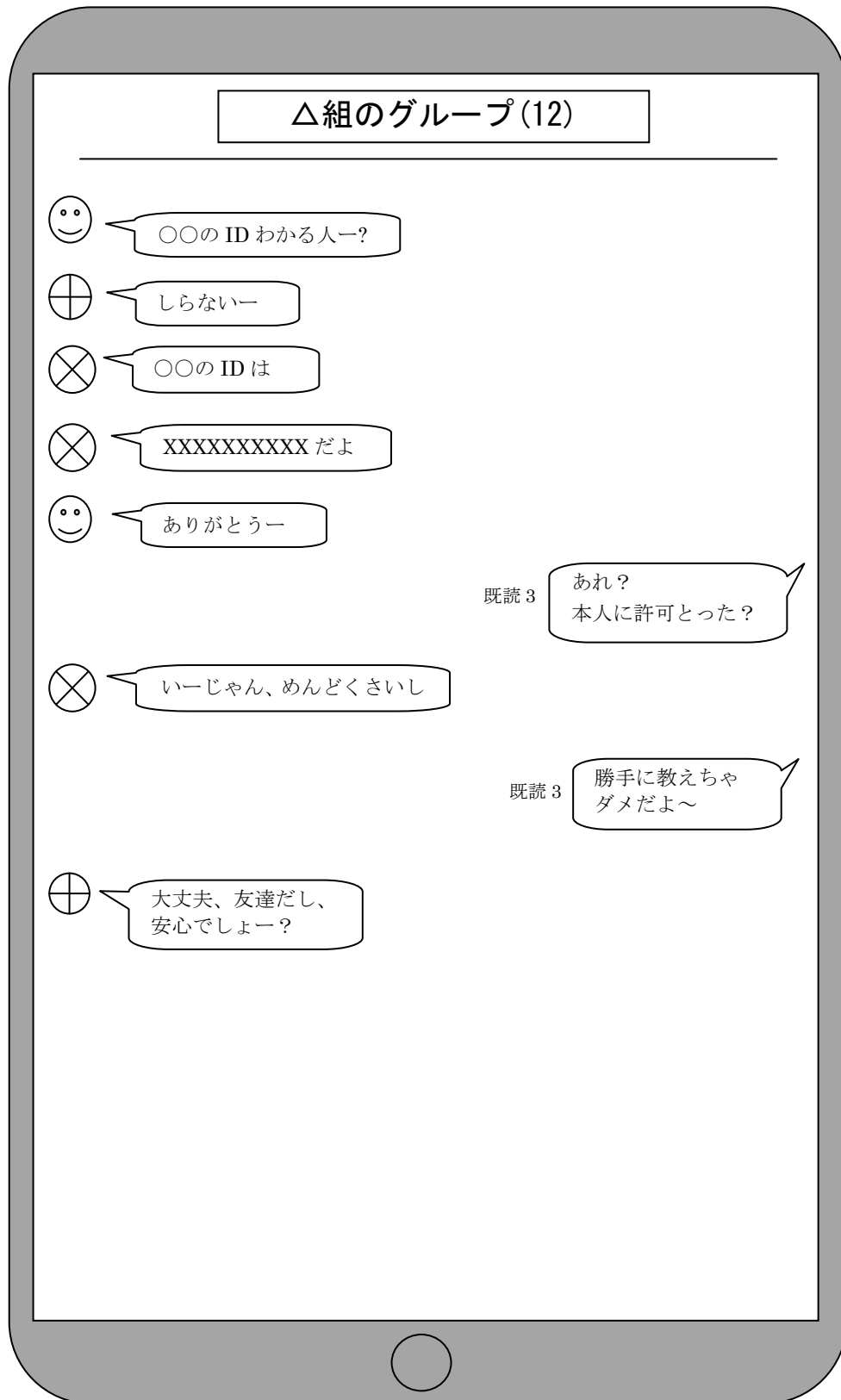
資料【高校生版】2

次のスマートフォンの画面は、SNSを使ったやり取りです。相手と持ち主のやり取りから気が付いたことを余白に書き出しましょう。(気になる場所に○でも可)



資料【高校生版】 3

次のスマートフォンの画面は、SNSを使ったやり取りです。相手と持ち主のやり取りから気が付いたことを余白に書き出しましょう。(気になる場所に○でも可)



(2) 振り返りシート【中学生版】



埼玉県マスコット
「さいたまもち」

あなたならどうする？

～SNS 上のトーク・グループ利用について～

年 組 番 氏名

1 『スマートフォン：SNS 上のトーク・グループでのやりとり』を体験してみて

①グループ内での話し合いや他のグループの発表を聞いて、自分の考えと、他の人の考えの違いについて（自分と違う意見があることについて）感じたこと

②インターネットの活用について気が付いたこと

3 今回の学習をとおして、あなたは、今後どのようなことを大切にしていきたいと思えますか



埼玉県マスコット
「コバトン」

(2) ワークシート 【高校生版】



埼玉県マスコット
「さいたまもち」

あなたならどうする？

～SNS 上のトーク・グループ利用について～

年 組 番 氏名 _____

1 『スマートフォン：SNS 上のグループでのやりとり』を読んでみて、何を感じたか。感想や考えを書き出してみよう。

2 グループで話したことやあなたの意見を書きましょう。

①何がトラブルの原因なのだろうか。

②どうすれば改善できるだろうか。

③このようなトラブルを起こさないためには、普段からどんなことを心がけたらよいだろうか

3 今回の学習をとおして、あなたは、今後どのようなことを大切にしていきたいと思いませんか。

○自分の考えと、他の人の考えの違いについて感じたこと

4 クラスで携帯・スマホを安全に利用するルールを考えよう。あなたならどうする？



埼玉県マスコット
「コバトン」

IV SNSの利用について指導する際のポイント（参考）

インターネット等の特性

- ・発信したものは世界中の人が閲覧可能
- ・インターネットに匿名性はない（匿名の投稿でも、個人を特定することは可能）
- ・個人情報（名前、住所、ID、メールアドレス、写真等）の書き込みによる拡散性
- ・一度送信（投稿）した内容を完全に削除することは難しい（コピーの拡散）

良くない行為

- ・差別的な発言や誹謗中傷の書き込み
- ・嘘や噂の書き込み
- ・他人の個人情報の配信
- ・なりすました投稿やIDの不正取得

使用する前に

- ・文字（絵文字）では気持ちが伝わらない場合がある。
（自分の意図しない意味で相手にとられる場合もある）
- ・素性のわからない人とつながる場合がある（相手が成りすましている場合もある）
- ・会話の勢いや悪のり、軽い気持ちでの書き込むことでトラブルに発展

留意点

- ・人が写っている写真や動画をアップするときには写っている人に許可をとってから行う。
- ・嫌な写真や動画を掲載されたら、削除してほしいことを伝える。
- ・困ったことがおきたら、身近な大人や詳しい人に相談する。